

# 千葉県から副市長を迎え

最近ふと感じたことがあります。それは「うまくいかないから人生は面白い」という言葉がその通りだなと思えたことです。人生までは大げさかもしませんが、事を成すに当たりなかなにかうまくいかないおかげで、諦めない心が育ち、より多くを学ぼうと気持ち

が引き締まります。逆に達成できたときは、大きな喜びと達成感も味わえます。壁に突き当たったときは、本気で実現させる気があるのかと信念を問われた気持ちになり、自身の志を再認識できます。これからも思い通りにならないことをどう乗り越えるか、向上心を持って日々成長してまいりたいと思う今日この頃です。

さて、新聞などでご存じの方も多しと思いますが、空席となっておりました副市長人事について、先の市議会6月定例会におきまして県職の勝又繁氏を副市長とすることに賛成全員でご可決を賜り、7月14日より就任いただく予定となりました。「銚子連絡道路インターチェンジ周辺の整備」や「市民が望む新病院の建設」など、県との関係性が深い、私が掲げる重点施策に取り組み上でも、県との連携を強化してまいりたいとの思いから、副市長をお願いしたところであります。私を補



佐いただきながらさまざまな政策を共に推し進めてまいります。また、今回の補正予算では、物価高騰の影響を踏まえ、県独自の子育て支援策として実施する子どもの成長応援臨時給付金の支給や国の地方創生臨時交付金を活用した市独自支援策第13弾を盛り込み、これらの事業を早期に執行してまいりたいと考えております。

結びに、いよいよ夏本番になってまいりました。夏と聞くだけでうきうきするのは子どもだけでなく、大人の人も多いのではないのでしょうか？

フターコロナの中、まだまだ不安も残るところではありますが、自粛や制限のない久しぶりの夏を迎えます。お祭りや花火大会をはじめさまざまなイベントやレジャーなど、暑い暑いと言いつながりも、結局は夏らしいことをエンジョイしたくなってしまう季節です。で、水分補給などの暑さ対策をしっかり行い、熱中症には十分ご注意ください。き思い出に残る夏にしてまいりましょう。

匝瑳市長 宮内康幸

## 匝瑳探訪 豊漁の願い

吉崎を歩く

7月に入ると各地で「海開き」の情報が聞かれるようになります。かつては市内の海水浴場も観光客でにぎわい、伝統的な地引き網も行われていました。

九十九里浜の漁業はおよそ400年前、江戸時代の初めに関西から先進的な漁法と加工法が伝わり、次第に地

元漁民に定着していったとされます。遠浅で砂浜の続く九十九里浜は地引き網の漁場として、またイワシを乾燥させた肥料である干鰯の加工場として最適の地でした。市内では1745(延享2)年の記



星宮神社の石灯籠

録に野手村で地引き網が行われたとるのが現存最古とされます。写真は吉崎・星宮神社拜殿前の左右に置かれた2基の石灯籠で、同村の網主が「豊漁の願い」を込め奉納したものです。

左の石灯籠は1784(天明4)11月と翌年2月に石橋与右衛門が奉納し「天下泰平 五穀成就」に加え、「海上安全 水主繁盛」と刻まれています。与右衛門は当時同村の網主で、「水主」とは地引き網を引く舟方で中心的な労働者でした。与右衛門は1869(明治2)年に隣村に網を売るまで50人ほどの水主を抱えていました。

地引き網は1823(文政6)年の記録では匝瑳郡に20あり、市域では野手、今泉、新堀、川辺、長谷、吉崎の各村に網主がいました。

右のものは、1862(文久2)年4月に宇野沢久兵衛が寄進し、これも「海上安全 水主繁盛」と刻まれています。

吉崎村の水主は、1782(天明2)年28人、1814(文化11)年40人、1871(明治4)年52人、長谷村は明治4年網主1人、水主62人、あったことが記録で知られます。

2基の石灯籠は、九十九里浜での地引き網の隆盛を伝えるものです。旧野栄町域にもそうした記念物が残されているかも知れません。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問 秘書課 広報広聴班 ☎73・0080

# 文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班  
〒289-2198 匝瑳市八日市場八793番地2  
☎73-0080 FAX72-1114

## 短歌

依知川 雅一 推薦

女郎花日傘にも似て花開く

庭に揺れおり初夏の訪れ

高橋百合子

台風の去りし夕べに期せずして

煌々と仰ぐ満月の光

鈴木 知子

真白なる梅花空木の凜として

混ざりあわなぬ気高さを知る

古谷由美子

老いた母右手に杖を左手は

ひとり残った我にしがみつ

内藤喜代美

真夜中にひとり青春コンサート

ポールアンカのダイアナを聴く

鈴木 和子

早朝の畑に咲いた紫陽花を

両手いっぱい花束にする

桑原 宏子

メロン切る夫の手じつと見つめると

大きい方を我に差し出す

鈴木 志子

川口 城司 推薦

今日も又元気だったと仏壇に

言へば写真は笑顔になりぬ

伊橋 良子

鳴かぬ犬アキが二日を哭き通し

十八年の生命尽くせり

石田 治

## 俳句

椿 和枝 推薦

筒鳥のぼんと明るし狐雨

椎落葉幼き日々の風の音

焼はまぐり潮吹きこぼす九十九里

残雪を踏みしめ行きぬ黒部ダム

残雪や友と歩きし尾瀬ヶ原

葉桜や直ぐなる道の通学路

チエーンソウ止み老鶯の山となる

吉井 八流

大川 宣子

鈴木 志子

安藤 建子

佐々木ゆき子

椎名 晴江

岩井 やす

川口 城司 推薦

石田 健

須貝 玉枝

## 川柳

勝又 康之 推薦

草の馬引いた子今はお爺さん

彦織にわが身を重ね暫し酔う

軒下に笹飾りして馬に餌

短冊に託す願いは百寿まで

今日の元氣明日へとつなぐ星祭

短冊に世界の平和G7

天の神五色短冊間引きする

佐久間美智子

中村 九藏

土屋 秀雄

鶴澤 澄子

江波戸京子

渡部すい子

安藤 幸恵

川口 城司 推薦

石橋 春歩

須貝 玉泉

過疎の町国が指定の大鼓判

朝一で得した気分二つ玉



本町通り商店街と立ち上げ予定地の店舗

## 隊員マサの とうさ発見発信 No.07

地域おこし協力隊員、北條将徳さん(長尾から姓を変更)が  
発信した匝瑳市体験をピックアップしてお知らせします。

### ブックカフェ計画始動

匝瑳市に移住して7カ月が経ちました。日々地域の魅力を発信するなかで  
八日市場の奥深い伝統文化などに触れ、ますます街が好きになりました。

その一方、商店の閉業や子どもたちの居場所が少ないことで街のにぎわい  
が減り、文化も失われていくことを知り、自分でも何かできないかと考える  
ようになりました。そんな折、商店街の空き店舗をお借りできる機会に恵ま  
れ今夏「ブックカフェ」を立ち上げます。応援よろしくお願いたします！



SNSで情報発信

隊員としての活動をSNSで発信しています。※名前の変更により、インスタのアカウントが変わりました。

LINE

▶友だち登録はこちら  
から



Twitter

▶ツイッターのアカ  
ウントはこちらから



Instagram

▶インスタグラムのア  
カウントはこちらから

